

長野県開田高原における木曽馬文化と 草地の再生を軸にした地域づくり

活動地域

 長野県木曽町



草をはむ木曽馬

課題

開田高原において、伝統的な草地管理が継続的に行われて草原環境の生態系が保全されることと、木曽馬の文化を核とした地域の人的・物的資源が地域振興に役立てられること。

目標

長野県木曽町において木曽馬の文化が復活し、開田高原の草地利用が促進され、草原環境の生物多様性が保全されること。



今後の
展望

地域外からボランティアを呼び込み、植生調査や伝統的な草地管理に関わる機会を創出するほか、伝統的な干し草積みのある景観の再生や草地での木曽馬の放牧など、木曽馬文化と草原のつながりを見える化していく。

特別助成

1年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

新型コロナウイルスの感染拡大により、現地での植生調査を中止したが、オンラインの勉強会に地域内外含めて延べ96人が参加し、交流や学びの場を提供できた。地域が持つ知恵、研究者の知見、地域外の関心が勉強会で浮き彫りになり、回を追うごとに参加人数が少しずつ増え、本活動の人的基盤ができてきた。
また、2022年3月6日に開催したシンポジウムには、地域内外から122人が参加した。開催案内を木曽町全戸に配布、地域のケーブルテレビや新聞による取材などにより、地域内に本活動の意義を周知させることができた。



シンポジウムの準備をする
現地NPO

勉強会6回の参加者数

96人

シンポジウムの
参加者数

122人

今年度計画の達成度

65%

目標達成度

65%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの感染拡大により、開田高原の植生調査や伝統的な草地管理ができず、また代替活動の検討や調整にも苦労した。

■ 工夫した点

オンラインを活用した地域内の勉強会、地域外との交流、シンポジウムなど、プロジェクトの周知を図るべく広報展開を工夫した。

〒113-8657

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学

大学院農学生命科学研究科

フードサイエンス棟4階

電話：03-6686-0300

E-mail：info@earthwatch.jp

HP：https://www.earthwatch.jp

